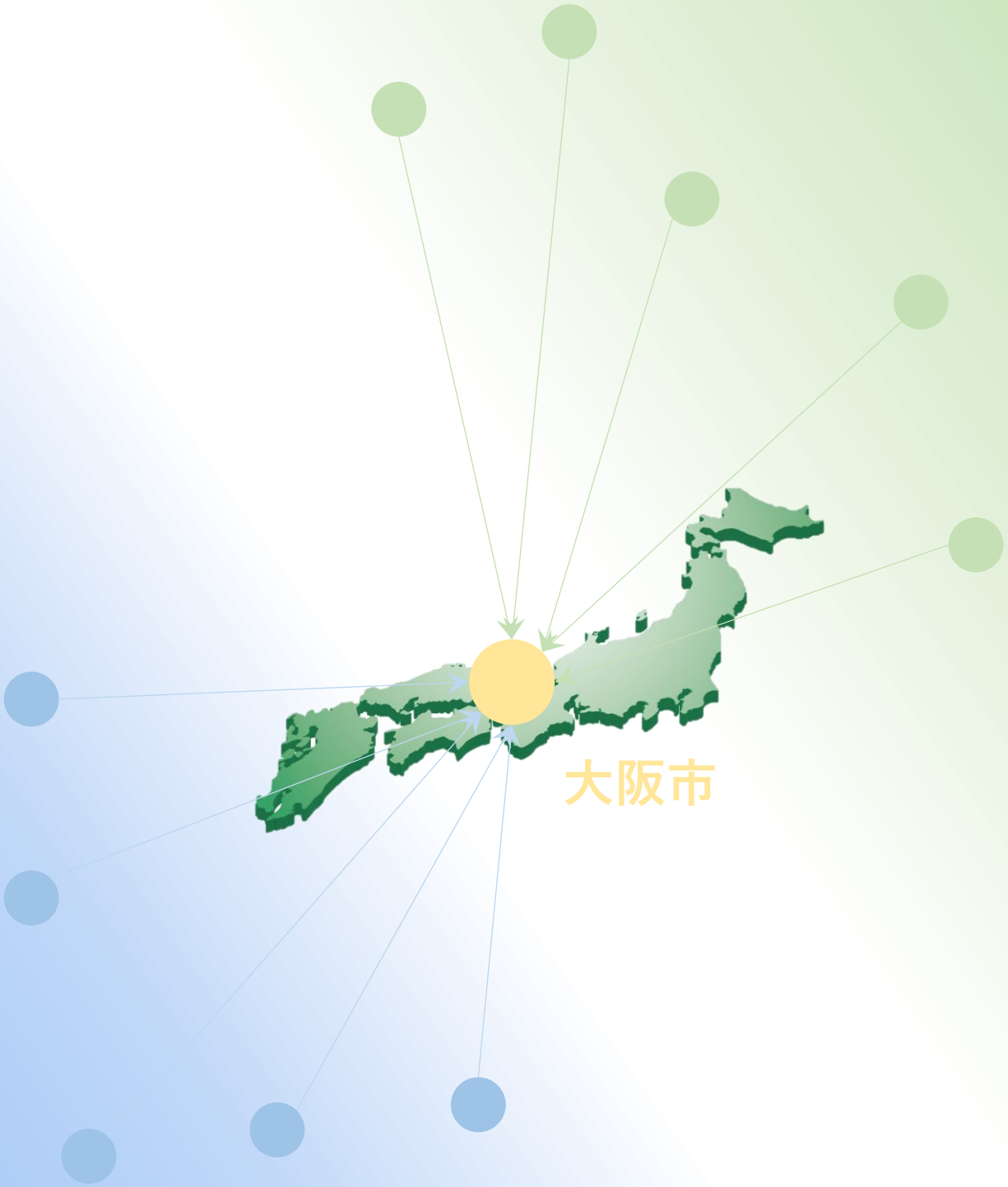
日本の水道技術



開発途上国の
水道普及に関
する課題

水道技術プロモーションハブ事業

2026/4 ver.2

水道技術プロモーションハブ事業について

水道技術プロモーションハブ事業は、海外の水道事業が抱える課題と日本の水道技術をつなぐ役割を担っています。 大阪市水道局(OMWB)や日本の民間企業が保有する水道技術に関する様々な情報を、海外の水道事業者のニーズに合わせて提供することで、開発途上国の水道普及の拡大・改善を促進していきたいと考えています。


非給水地区


漏水



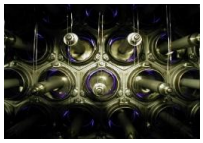



施設の劣化　飲用に適さない水

開発途上国の水道事業体が直面している様々な課題











日本の水道技術

水道技術
プロモーションハブ事業

大阪市水道局が保有する
水道技術に関する情報

日本の民間企業が保有する
水道技術に関する情報

開発途上国における
水道普及の改善

詳細情報

- より詳しい情報をお知りになりたい方は、右のQRコードにアクセスしてください。私たちのプロジェクトに関する短い動画（英語、ベトナム語、インドネシア語）をご覧いただけます。

-English- -Tiếng Việt- -Indonesia-
Short video

- 右下のQRコード(大阪市水道局HP)にアクセスすると、大阪市水道局のホームページから長い動画を見ることができます。

-OMWB HP-

大阪市水道局の技術・ノウハウ

大阪市水道局は、国内最大級の柴島浄水場を有しており、柴島浄水場の近隣には水質管理研究センターや体験型研修センターがあります。ここでは、浄水・給配水・水質管理といった水道全般の技術や、水道事業体として120年以上培ってきた経験・ノウハウをご紹介することができます。



柴島浄水場



水質管理
研究センター



体験型研修センター

日本の民間企業（パートナー企業）の技術

当局では、海外の水道施設・設備の改善に向けて、海外の水道事業に携わる日本の民間企業と連携しています。これらパートナー企業の製品・技術を海外の水道事業者に知ってもらうことで、各地域の水道事業の改善を促進できると考え、積極的に情報発信を行っています。

実演型情報発信

研修や技術交流のために大阪市水道局を訪問した海外の水道事業体等の職員に対して、体験型研修センターのフィールドを活用し、海外の水道事業体の課題解決に向けたパートナー企業の製品・技術を実演することで、情報発信を行っています。



展示型情報発信（Aquatic Osaka）

Aquatic Osakaは、日本の水道技術の展示型の情報発信拠点として、来阪した海外水道事業体等の職員が、パートナー企業の製品・模型・ポスター・映像等を見て、触れることで、水道に関する課題の解決のきっかけとなるよう情報を発信しています。



展示物

・製品、模型展示コーナー	：12 点
・パネル展示コーナー	：12 点
・動画視聴コーナー	： 5 点

連絡先

大阪市水道局　総務部　連携推進課

海外支援担当

Email :
overseas_support@suido.city.osaka.lg.jp
https://www.city.osaka.lg.jp/suido/page/0000623878.html